

経営比較分析表（令和6年度決算）

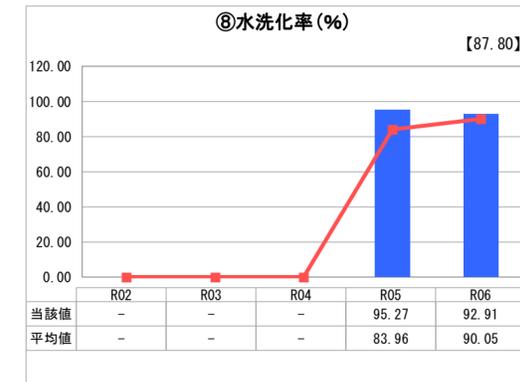
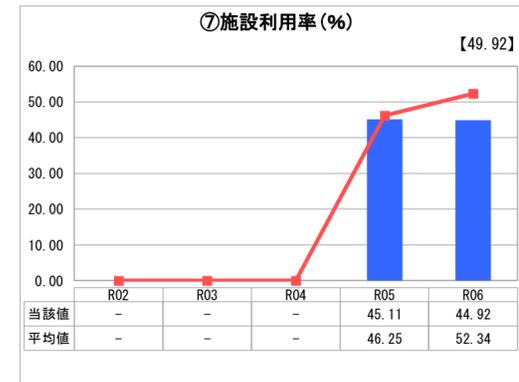
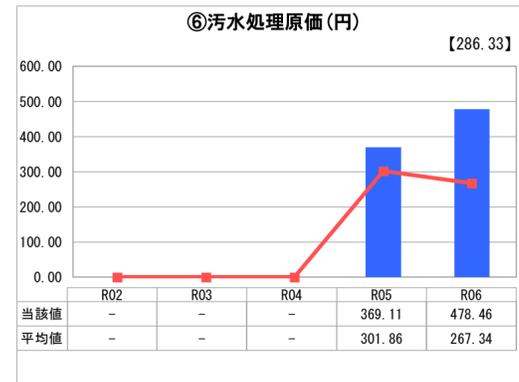
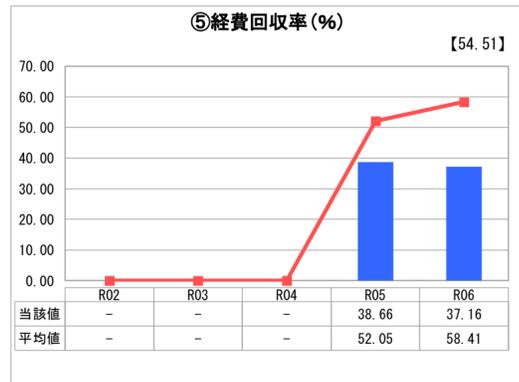
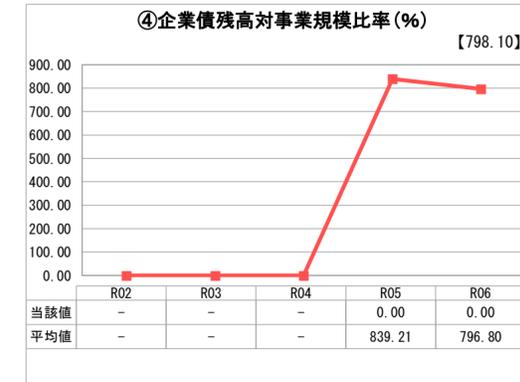
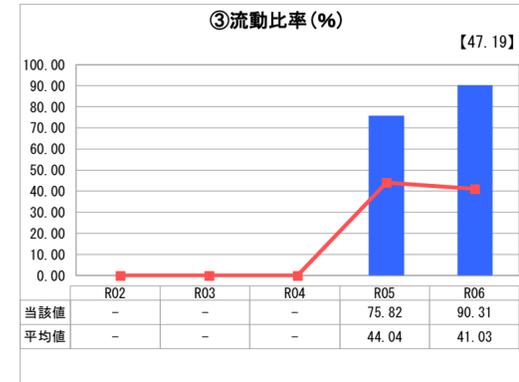
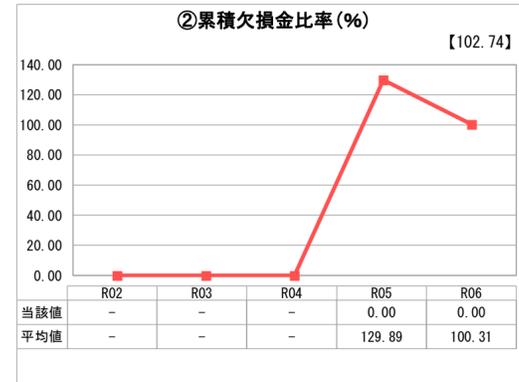
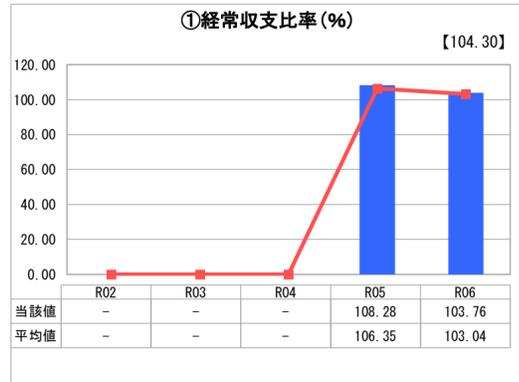
岐阜県 揖斐川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	59.89	58.94	100.00	5,720

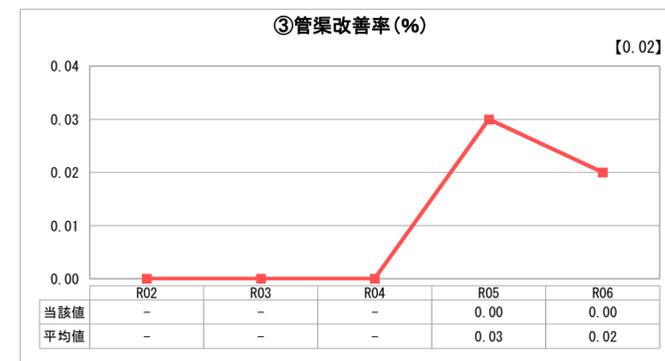
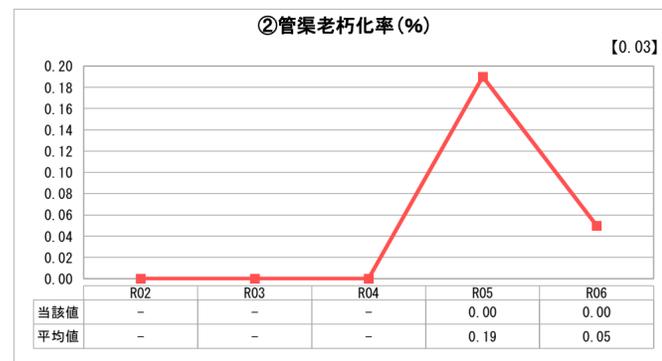
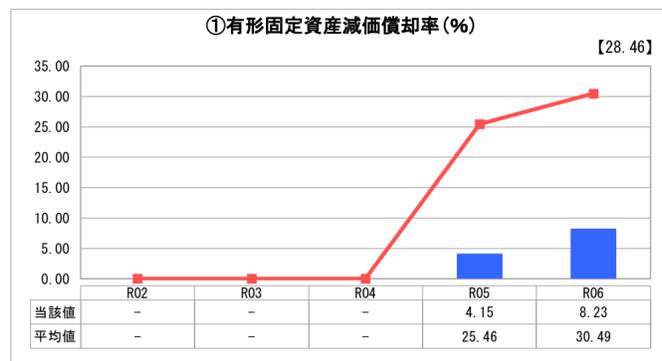
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,633	803.44	23.19
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
10,893	12.45	874.94

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%以上であるが、一般会計繰入金に依存した状態である。
 ③ 流動比率は企業債元利支払い金額が平成26年をピークに減少してきているため平均より高くなっている。
 ⑤ 経費回収率は低く、⑥ 汚水処理減価が高いが、地理的条件により集落が点在し処理区が複数必要なためである。また、近年供用開始した処理区は接続率が伸び悩んでいる。
 ⑦ 施設利用率⑧ 水洗化率は平均に近い。

引き続き県と町が協力して引き続き下水道への接続のPR等推進に努めつつ、経費削減を図る必要がある。

2. 老朽化の状況について

平成10年以前に整備された処理施設が4施設あり、管路施設においても標準耐用年数50年のところ、最も古い管路で31年を経過している。また、ポンプ設備などの機器類においては、標準耐用年数15年を超えている状況であり、今後、修繕費用や更新費用など急激な増加が見込まれるため、平成31年度から2ヶ年全施設の点検(機能診断調査)した結果をふまえ、令和4年度から機能強化事業を活用した計画的な施設更新を行う計画であったが、予定を先送りし、故障による緊急度の高い機器類の更新を進めている。また、計画的な定期点検(オーバーホール等)を実施することにより、機器の長寿命化を図り、ランニングコストの抑制に努める。

全体総括

本町は、地域が点在しているなどの地理的条件により、農業集落排水施設が18処理区(H27.8供用開始処理区含む)と非常に多い状況であるため、維持管理経費が類似団体に比し、高くなっている状況にある。よって、平成28年度に策定した経営戦略に基づき、継続的な維持管理費の抑制と未接続世帯への接続推進に努め、より健全な経営管理に努める必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。